



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート統括部長 (氏名) 稲谷 和樹
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6233-2636

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,733	4.8	333		990		947	
2023年3月期第2四半期	10,226	11.0	30	111.2	63	72.7	71	55.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,010百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 87百万円 (27.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	122.64	
2023年3月期第2四半期	9.27	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	10,661	3,660	34.3	473.69
2023年3月期	11,034	2,804	25.4	362.94

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,660百万円 2023年3月期 2,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		20.00	20.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,856	5.4	1,166	656.5	1,146		803		103.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	7,850,000 株	2023年3月期	7,850,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	122,736 株	2023年3月期	122,736 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	7,727,264 株	2023年3月期2Q	7,727,264 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に引き下げられ、個人消費の持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調となりましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、世界的な金融引き締めによる景気減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、フィルム原反の供給不足による価格上昇や物流コストの高騰、為替相場の急激な変動による輸入仕入価格の上昇など厳しい事業環境が続く中、引続きお客様へ価格の引き上げをお願いするとともに、為替リスクを解消するための為替予約など営業的、財務的な施策を実施し収益の改善に努めてまいりました。また化粧品生産体制の拡充として、4連パウチ充填機を導入し生産能力を高めるとともに、課題であった商材の開発では機能性・環境対応の商材として農業及び飲食市場向け高機能鮮度保持ポリ袋を展開しております。

パッケージを起点としてお客様の要望をくみ取り、様々なサービスを提供する複合営業を強化し、高収益を達成するための基盤作りに焦点を絞り、企業価値を高め、成長を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,733百万円（前年同期比4.8%減）となりました。利益面につきましては、商品販売事業の利益率が改善されたことにより、営業利益は333百万円（前年同期は30百万円の営業損失）となりました。またデリバティブ評価益として667百万円を計上した結果、経常利益は990百万円（前年同期は63百万円の経常利益）、固定資産売却益203百万円を計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は947百万円（前年同期は71百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業を一層促進していただくために、企画から配送にいたるまで商品・サービスの提供、支援をする事業であります。

販促品キャンペーンを軸とする販売は、付加価値の高い機能性ポリ袋が好調であったものの、コロナ禍での巣ごもり需要の大口販促の企画が減少したことで前年同期を下回りました。OEMについては、化粧品等の案件は横ばいであったものの、雑貨等の充填などのアSEMBリ作業はメーカーの過剰在庫が影響したことで大きく落ち込みました。また発送代行については、ECへの移行といった環境の変化による通数の減少があったことから前年同期を下回りました。

利益面につきましては、化粧品案件の増加に伴い充填機の稼働率は高く推移しているものの、売上の落ち込みが要因となり売上総利益は前年を下回りました。販管費においては人件費やその他経費が減少したものの、セグメント利益額は減少いたしました。

その結果、売上高は4,724百万円（前年同期比9.0%減）、セグメント利益は149百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップ、ドラッグストアやホームセンター、小売販売店に対して、商品を企画提案し、調達し、そして提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、高価格帯商品の投入や消臭袋、鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリ製品を中心に好調であり、またコロナ明けの消費者行動の変化により行楽商品やトラベル用品が回復したこともあり大きな増加となりました。量販店向けについては、ポリ製品は100円ショップ向け同様売上は好調であり、インテリア雑貨も多くの小売店に導入が進んでおります。しかし紙製品を中心としたコンテナ直送での販売をやめたことが大きく影響し減少となりました。

利益面につきましては、為替変動の影響が収益を圧迫しているものの、より収益性の高い製品を導入できたこと、仕様変更や廃番を積極的に進めたことから、セグメント利益額は大幅な回復となりました。

その結果、売上高は5,061百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は184百万円（前年同期は190百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は10,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ373百万円減少しました。これは主に現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金、棚卸資産や土地等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は7,000百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,229百万円減少しました。これは主に未払法人税等が増加したものの、短期借入金や長期借入金等が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は3,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ855百万円増加しました。これは主に利益剰余金等が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,267,136	1,787,961
受取手形及び売掛金	2,973,057	2,692,285
電子記録債権	697,783	775,307
商品及び製品	1,757,903	1,665,042
仕掛品	228,760	180,588
原材料及び貯蔵品	491,613	379,455
その他	219,327	198,626
貸倒引当金	△1,022	△975
流動資産合計	7,634,559	7,678,292
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,414,975	929,263
その他(純額)	942,351	1,031,084
有形固定資産合計	2,357,326	1,960,348
無形固定資産		
顧客関連資産	147,361	142,279
その他	63,461	45,834
無形固定資産合計	210,823	188,113
投資その他の資産		
その他	874,533	891,909
貸倒引当金	△42,655	△57,464
投資その他の資産合計	831,878	834,444
固定資産合計	3,400,028	2,982,906
資産合計	11,034,587	10,661,199
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,251,317	1,167,746
短期借入金	4,680,000	3,850,000
1年内返済予定の長期借入金	152,952	156,620
未払法人税等	44,620	191,575
未払消費税等	28,664	85,692
賞与引当金	114,131	138,568
その他	430,711	455,005
流動負債合計	6,702,396	6,045,208

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
固定負債		
長期借入金	466,834	385,982
退職給付に係る負債	65,509	67,639
長期未払金	137,022	137,022
その他	858,293	364,989
固定負債合計	1,527,659	955,633
負債合計	8,230,055	7,000,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	1,071,452	1,864,544
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	2,537,902	3,330,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,398	138,642
繰延ヘッジ損益	△2,190	1,486
為替換算調整勘定	136,422	189,236
その他の包括利益累計額合計	266,629	329,364
純資産合計	2,804,532	3,660,358
負債純資産合計	11,034,587	10,661,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	10,226,603	9,733,306
売上原価	8,412,064	7,681,423
売上総利益	1,814,538	2,051,882
販売費及び一般管理費	1,845,306	1,718,152
営業利益又は営業損失(△)	△30,768	333,729
営業外収益		
受取利息	67	462
受取配当金	5,533	5,330
為替差益	30,529	6,130
デリバティブ評価益	70,453	667,383
資材売却収入	2,450	2,755
その他	5,966	7,604
営業外収益合計	115,000	689,666
営業外費用		
支払利息	16,626	14,564
貸倒引当金繰入額	△1	14,278
その他	4,412	3,830
営業外費用合計	21,038	32,673
経常利益	63,193	990,722
特別利益		
固定資産売却益	9	203,863
投資有価証券売却益	3,739	—
特別利益合計	3,749	203,863
特別損失		
固定資産除却損	2	27
特別損失合計	2	27
税金等調整前四半期純利益	66,940	1,194,558
法人税、住民税及び事業税	36,169	166,222
法人税等調整額	△40,865	80,699
法人税等合計	△4,695	246,922
四半期純利益	71,636	947,636
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,636	947,636

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	71,636	947,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,780	6,243
繰延ヘッジ損益	3,336	3,676
為替換算調整勘定	31,452	52,813
その他の包括利益合計	16,007	62,734
四半期包括利益	87,643	1,010,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,643	1,010,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。